

淀川管内に7つある、国土交通省淀川河川事務所の出張所から職員が管内のみどころを紹介します。今回の担当は毛馬出張所です。

毛馬出張所の歴史は、明治40年(1907年)に完成した毛馬閘門、その後完成した毛馬洗堰、長柄起伏堰・可動堰、そして淀川大堰、毛馬排水機場等と共に歩んでおり、明治時代に完成した毛馬閘門や毛馬洗堰については、その役割を終えた現在も淀川河川公園内にその一部を当時と同じ場所・状態で保存しています。

平成31年(2019年)1月からは、これらの施設を紹介する毛馬排水機場見学会を毎月1回開催しています。この見学会を開始するきっかけとなったのは、今から2年前、平成30年(2018年)9月の台風21号でした。

この台風は、関西空港など大阪湾沿岸地域に大きな被害をもたらしました。大阪湾では過去最高の潮位を記録したものの、それまで最高の潮位を記録した昭和36年(1961年)の第二室戸台風とは比較にならないほど被害が少なかったのは、防潮堤や水門の整備に加え、毛馬排水機場が大川および寝屋川・第二寝屋川・平野川の水を排水することにより、大阪を高潮や洪水による浸水被害から守る上で大きな役割を果たしたからです。

見学会では、施設の役割をもっと住民の方々に知っていただくこと、毛馬排水機場をはじめ、淀川大堰や毛馬水門・毛馬閘門などの施設を間近に見ながら、それぞれが果たす

役割をお伝えしています。排水機場内の巨大な吹き抜け空間(延長約100m、高さ約18m)には、日本最大の排水能力を有したポンプ設備が鎮座しており、その大きさに驚かれる方も多く、3階の会議室からは大阪市内のビル群を背景にゆったりと流れる淀川と淀川大堰が一望できます。



また、見学会の参加者には、ここでしか入手できないかわカードを配布しています。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため一時的に見学会を中止しています。

再開した際には、是非、見学会にお越しください。

詳しくは、淀川河川事務所ホームページの「新着情報」をご覧ください。

淀川について知ろう



表紙撮影地：
枚方水位観測所
(枚方市桜町)
淀川沿いを通りかかると
目にする白い塔。
その役割とは？

ヤマトシジミ [大和蜆]

春先に淀川大堰より下流の堤防を歩くと「貝毒発生中」の看板が立っていることがあります。これは、淀川の特に汽水域に生息する二枚貝を食べてはいけないことを注意喚起しているものです。水質汚染などとは関係がなく、一時期発生する現象です。



毎年ゴールデンウィーク明けには貝毒が無くなり、この看板も撤去されます。梅雨から夏にかけては、淀川右岸の干潟でシジミを



撮影：阿部 晟大(毛馬出張所管内河川レンジャー)

採る潮干狩りイベントが開催されたりもします。淀川のシジミは、ヤマトシジミ、マンジミ、タイワンシジミ(外来種)、セタシジミという種類があり、丸みを帯びた三角形の形をしています。ヤマトシジミは、十三干潟など汽水域に生息し、川底が砂地のため、べっこうのような色をしていることから「べっこうシジミ」の愛称で

いきものイチョシ!! 第22回

親しまれてきています。ヤマトシジミは、水中のプランクトンなどを食べて栄養にし、きれいになった水を吐き出します。この濾過摂食により川の水を浄化する重要な役割を果たしています。

近年、乱獲により、個体数が減少してきています。持続可能な社会のために必要以上の採集は避けたいものです。

シジミは砂を掘らないと姿を見ることができない、まさに縁の下の力持ち。足元の生物たちのおかげで淀川の水質が維持されています。

河川レンジャーとして、もっと多くの人に淀川の生態系に関心を持っていただけるよう活動に取り組んでいきたいと思ひます。



河川管理

施設

について知ろう

枚方周辺には、さまざまな川の施設があります。今回は、枚方水位観測所をご紹介します。



枚方出張所管内河川レンジャー 山口遼太



枚方水位観測所

●水位計の種類：水晶式水位計

枚方の河川敷に立つこのシンボリックな建造物、実は淀川の水位を観測している水位観測所です。外観は「ヨシのようにまっすぐと伸びる様子と、淀川のゆるやかな流れを曲線的に表現している」のだそうで、天気の良い日は写真映えもしています。…ところでみなさん、中はどうなっているのか気になりませんか？ 今回の寄稿にあたり特別に内部を見せていただきました。

皆さんは淀川河川敷枚方地区にあるこの白い塔をご存じでしょうか？



螺旋階段と計測器

この日々の観測データが、淀川の管理と水防対策に大いに役立てられています。これからの出水期、災害が起こらないに越したことはありませんが、ニュースなどで【河川水位】の情報を得る際は、これらの施設が頑張ってくれていることにも思いを馳せてください。

淀川流域の水位はこちらから↓ <https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa>

下流側にある重厚なステンレスの扉を開き、いざ内部へ。



観測所の入り口

中は筒状になっていて、入口部分から上に約9m、下に約5mの大きな縦穴があいています。縦穴の底は川とつながっており、水位の増減に従って計器が上下することで水位を計測しています。(それ以外にも電子的な測量など複数の手法で水位・流量の観測が行われています)

入口から上の軸部分は螺旋階段になっており、9mの螺旋階段を登りきると計器と配電盤が並んでいます。その様子はまさに小さな観測所。雨の日も風の日も、時には増水に浸かりながらも、ここで日々データが計測されています。



塔の上からみた河川敷

人知れず日々淀川を観測し続けている枚方水位観測所。

流域の今昔タイムトラベル

TIME TRAVEL



佐太天神宮から淀川を望む

淀川沿いの守口市内にある「佐太天神宮」は、その昔、菅原道真公が大宰府へ流される途中、自身の荘園であった当地に船をつないで滞在した場所とされています。

江戸時代には、枚方宿と守口宿の中間地点にある間宿(あいのしゅく)として栄え、天神宮前の浜は、佐太の渡し場であり、年貢米の積出場にもなっていたそうです。

かつては淀川の兩岸を結ぶ渡し船が運航していました。主な集落ごとに、船に乗り降りする渡し場があり、「佐太の渡し」は対岸の鳥飼との間を結ぶ交通手段として集落の住民によく利用され親しまれていました。淀川には、他にも渡し場がありましたが、「仁和寺の渡し」を最後にその歴史



渡し船の歴史を今に伝える石碑

を閉じました。佐太の渡しは、昭和50年(1975年)頃に廃止され、かつての名残で「淀川筋佐太渡船場」の石碑が立っています。

渡し船は、歴史の一部となりましたが、舟運の文化は今でも残っています。佐太には、現在、船着き場があります。これは、緊急用船着場で、災害時の物資輸送等のために整備されたものです。また、今でも淀川を愛する多くのファンによって、歴史や文化を学べるツアーなどが企画され、舟運の雰囲気を体験することができます。是非、参加してみたいかかでしょうか。



枚方出張所管内河川レンジャー 安田宇江亜



河川レンジャーアドバイザーとは、河川レンジャーとしての任期を終了後、新しいレンジャーの人材発掘や地域での活動を続ける人のことです。今年新たに4人の河川レンジャーアドバイザーが誕生しました。

河川レンジャーアドバイザー 原 健二



淀川の自然を身近に感じて欲しいとの思いから地域の皆さんの淀川への入口でもある河川公園をより良くすることを中心に取り組んできました。これからも地域の皆さんと行政の橋渡しとなって魅力ある淀川を目指して活動していきます。

河川レンジャーアドバイザー 東 親志



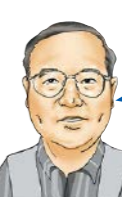
アドバイザーとして、知識と経験を活かしながら自然環境の「攪乱」、「遷移」を理解し、バランスのとれた持続的な環境の維持を図るため、引き続き地域の方と協働による河道内樹木伐採、外来種防除活動や勉強会を実施していきたいと考えています。

河川レンジャーアドバイザー 亀井 伸幸



青空や太陽を水面に映し、葦が生いざかり、魚が飛び跳ね、野鳥が羽を休める。街中を流れる大河でありながら、淀川には自然の魅力があります。そんな淀川の今とこれからを、皆さんと一緒に見守り育んでいきたいと思っています。

河川レンジャーアドバイザー 出来 猛



淀川の自然環境(生き物、水質)について学ぶ出前授業を行ってきた経験を活かし、アドバイザーとして、近隣の自治体と連携して、淀川の環境保全の活動や水防災の活動に引き続き取り組んでいきたいと考えています。

淀川の魅力を発見しよう!

わしは、バツタの
タケちゃんや!
レンジャーさんに
会いにレッツ・ゴー!



河川レンジャーは、
気軽に参加できる
活動を通じて、淀川
の魅力を伝えている
んだよ。



河川レンジャーは、
淀川水系をフィールドにさまざまな活動を
しています。今回は、その中からいくつかの
活動スポットをご紹介します。



5 桂川

桂川の豊かな自然を守る活動として、河川
清掃を開催。清掃後には、桂川について
学ぶ自然観察を実施(写真右)。



6 東高瀬川(宇治川支流)



毎年春と秋に河川清掃の活動を
開催。

3 淀川河川公園 大塚地区



毎年秋に飛距離を競うバツタの
オリンピックを開催。



川の自然を、見て、
ふれて、体験でき
るんじやな~

4 淀川河川公園 三島江地区



定期的に樹木伐採や外来種
駆除の活動を開催。

桂川
KATSURA RIVER

宇治川
UJI RIVER

木津川
KIZU RIVER

淀川
YODO RIVER

2 淀川点野砂州・ワンド



市民が関わる川づくりを实践。
定期的に清掃や外来種の駆除活
動を開催。

8 木津川流域



初夏から秋にかけて、
自然観察会を開催。

7 宇治川流域 京都市伏見区ほか



川の歴史探訪を開催。

1 淀川 赤川ワンド



淀川のワンドは生き物の宝庫。
毎年夏に自然観察会を開催。

9 上粕川(木津川支流)



毎年秋頃に地域の皆さんと連携
し、河川清掃や外来種駆除の活
動を開催。

楽しい活動が
たくさん!
みんなきてね!



すべての活動は
参加費無料
申し込みね



河川レンジャーは、
「川をより身近に」
「よりよい川に」と
いう思いを持って、
活動しているよ。

ほお~ わしも参加
してみたいの~。
ホームページを
チェックじゃ!



※ 今号に掲載している写真は、すべて2019年11月以前に撮影したものです。

今回紹介した活動スポット以外でも淀川管内河川レンジャーは、活動しています。
活動の最新情報(日時、参加申込方法などの詳細)は、淀川管内河川レンジャーホームページでご覧いただけます。



河川レンジャーの活動予定

ホームページで
ご確認ください

河川レンジャーの活動や講座
(淀川発見講座・レンジャー
養成講座)の開催予定につ
いては、淀川管内河川レン
ジャーのホームページに最新
の情報を掲載しています。



最新の情報は、
QRコード →
または下記URLに
アクセスして、
ご覧いただけます。



河川レンジャー
川と人、人と人を結ぶ

どうやって活動を進めているの?
進め!河川レンジャー編

河川レンジャーってどうしたらなるの?
めざせ!河川レンジャー編

新着情報

2020.05.07	【2020.5.31実施】麻生ワンド保全活動NEW
2020.05.07	【2020.5.16実施】徳兵衛門救急排水ポンプ見学会NEW
2020.05.07	【2020.5.10実施】点野みんなの水辺づくりNEW
2020.03.11	【2020.5.24実施】川辺りの観・体験場をまごう! 太陽受小 會と三橋門
2020.03.11	木津川川カキ同2020年同員募集

活動カレンダー

2020	05	日は 活動あり					
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

河川レンジャー活動報告

平成30年度 淀川水系一斉美化アクション 開催報告NEW
河川レンジャー活動事例紹介

マンガで
河川レンジャーの
しくみや取り組みを
紹介しています。

活動実施予定は
こちらから
申込方法など
詳細を掲載

淀川発見講座 2020 レンジャー養成講座

講座の開催延期に
関するお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大を防止
するため、例年6~7月に開催して
いる淀川発見講座・レンジャー養成
講座は、秋以降開催予定。開催日
などの詳細はホームページに掲載
します。



淀川管内河川レンジャー事務局の
公式SNSアカウントを開設しました。
活動の最新情報や
活動写真などを
配信しています。

Instagram

淀川管内河川レンジャーの
インスタがはじまりました。

ユーザーネーム:
@yodogawaranger



(新型コロナウイルス感染症の影響により活動・講座が中止・延期になる場合があります。)

お問い合わせ先

淀川管内河川レンジャー事務局 (平日 9時~17時)

中央流域センター 〒573-0056 枚方市桜町 3-32

TEL: 072-861-6801 FAX: 072-841-5663

E-MAIL: cyuuou-kasen@nifty.com

